

四 半 期 報 告 書

第69期第2四半期

2019年7月1日から
2019年9月30日まで

スガイ化学工業株式会社

(E00906)

目 次

頁

表紙

第一部 企業情報	1
第1 企業の概況	1
1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	2
第2 事業の状況	3
1 事業等のリスク	3
2 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	3
3 経営上の重要な契約等	4
第3 提出会社の状況	5
1 株式等の状況	5
2 役員の状況	7
第4 経理の状況	8
1 四半期財務諸表	9
(1) 四半期貸借対照表	9
(2) 四半期損益計算書	11
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	12
2 その他	14
第二部 提出会社の保証会社等の情報	15

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2019年11月11日
【四半期会計期間】	第69期第2四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）
【会社名】	スガイ化学工業株式会社
【英訳名】	SUGAI CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 武田 晴夫
【本店の所在の場所】	和歌山県和歌山市宇須四丁目4番6号
【電話番号】	和歌山 073（422）1171（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 山辺 賢
【最寄りの連絡場所】	和歌山県和歌山市宇須四丁目4番6号
【電話番号】	和歌山 073（422）1171（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 山辺 賢
【縦覧に供する場所】	株式会社 東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第68期 第2四半期 累計期間	第69期 第2四半期 累計期間	第68期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	2,376,269	2,419,796	5,503,306
経常利益 (千円)	51,777	4,771	220,266
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失(△) (千円)	37,067	△16,704	230,632
持分法を適用した場合の 投資利益 (千円)	—	—	—
資本金 (千円)	2,510,000	2,510,000	2,510,000
発行済株式総数 (千株)	13,730	1,373	1,373
純資産額 (千円)	5,796,829	5,604,127	5,777,657
総資産額 (千円)	10,033,339	9,327,742	9,689,497
1株当たり四半期(当期) 純利益又は1株当たり 四半期純損失(△) (円)	27.06	△12.20	168.38
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	—	—	—
1株当たり配当額 (円)	—	—	30.00
自己資本比率 (%)	57.8	60.1	59.6
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	310,109	△139,940	1,116,110
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	△242,617	△141,191	△428,829
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	40,960	△55,811	△180,738
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	432,634	493,307	836,640

回次	第68期 第2四半期 会計期間	第69期 第2四半期 会計期間
会計期間	自 2018年7月1日 至 2018年9月30日	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	44.16	39.58

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。

3 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社がないため記載しておりません。

4 第68期第2四半期累計期間及び第68期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、第69期第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たりが四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

5 当社は2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。第68期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益又は1株当たり四半期純損失(△)を算定しております。

2 【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、関係会社についても異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態及び経営成績の状況

(財政状態の分析)

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ361百万円減少の9,327百万円となりました。これは主に、原材料及び貯蔵品は87百万円、機械及び装置は54百万円増加しましたが、現金及び預金が343百万円、投資有価証券が時価の変動等により201百万円減少したことによるものです。

負債につきましては、前事業年度末に比べ188百万円減少の3,723百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が194百万円減少したことによるものです。

また、純資産は前事業年度末に比べ173百万円減少の5,604百万円となり、自己資本比率は60.1%（前事業年度末59.6%）となりました。

(経営成績の分析)

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業業績や雇用環境の改善により緩やかな回復基調が続いているものの、米中貿易摩擦による中国経済の減速、英国のEU離脱問題の先延ばし、日韓関係悪化、海外経済の不確実性等、依然、不透明な状況となっております。

このような状況の中で、国内売上高は、2,194百万円と前年同期（2,108百万円）に比べ86百万円（4.1%）の増収となりました。これは、医薬用中間物及び機能性中間物は減少しましたが、農薬用中間物が増加したためです。

一方、輸出売上高は、225百万円と前年同期（268百万円）に比べ42百万円（15.9%）の減収となりました。これは、農薬用中間物及び機能性中間物は大幅に増加しましたが、医薬用中間物が大幅に減少したためです。

この結果、総売上高は2,419百万円となり、前年同期（2,376百万円）に比べ43百万円（1.8%）の増収となりました。また、輸出比率は9.3%（前年同期11.3%）となりました。

利益につきましては、総売上高の増収はありましたが、固定費の増加、燃料費の上昇等もあり、営業利益は5百万円（前年同期41百万円）、経常利益は4百万円（前年同期51百万円）、四半期純損失は16百万円（前年同期四半期純利益37百万円）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費は189百万円となりましたが、仕入債務が192百万円減少したこと及びたな卸資産が76百万円増加したことなどにより、139百万円の支出（前年同期310百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出146百万円などにより、141百万円の支出（前年同期242百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額が40百万円となったことなどにより、55百万円の支出（前年同期40百万円の収入）となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の期末残高は493百万円となり、前事業年度末に比べて343百万円減少しました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題については、重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(3) 研究開発活動

当第2四半期累計期間における研究開発費の総額は94百万円です。なお、研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(4) 生産及び販売の実績

当第2四半期累計期間における、生産及び販売実績は、下記のとおりであります。

なお、当社の事業は、有機化学合成に基づく中間物の製造、販売、研究及びサービス等を行う単一セグメントであるため、セグメント情報を記載しておりませんので、「生産及び販売の実績」については製品の種類別ごとに記載しております。

① 生産実績

区分	生産高（千円）		前年同四半期比（％）
	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間	
医薬用中間物	361,674	520,952	+44.0
農薬用中間物	1,445,176	1,322,575	△8.5
機能性用中間物	293,283	314,657	+7.3
その他用中間物	51,864	42,364	△18.3
界面活性剤	220,407	228,791	+3.8
合計	2,372,406	2,429,341	+2.4

(注) 金額は、販売価格（消費税等抜き）によっております。

② 販売実績

区分	販売高（千円）		前年同四半期比（％）
	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間	
医薬用中間物	495,246	312,214	△37.0
農薬用中間物	1,297,136	1,605,221	+23.8
機能性用中間物	277,823	234,110	△15.7
その他用中間物	73,043	50,418	△31.0
界面活性剤	220,694	191,659	△13.2
その他	12,326	26,170	+112.3
合計	2,376,269	2,419,796	+1.8

(注) 1 金額には、消費税等は含まれておりません。

2 主な輸出先、輸出販売高の増減は、次のとおりであります。

輸出先	輸出販売高（千円）		前年同四半期比（％）
	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間	
北米	102,472	181,436	+77.1
欧州	146,322	25,956	△82.3
アジア他	19,263	18,112	△6.0
合計	268,058	225,505	△15.9

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、新たに決定または締結した経営上の重大な契約等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数 (株)
普通株式	4,000,000
計	4,000,000

②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数 (株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数 (株) (2019年11月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	1,373,000	1,373,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 100株
計	1,373,000	1,373,000	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

①【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

②【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式総 数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日	—	1,373,000	—	2,510,000	—	2,016,543

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式（自己株式を除く。）の総数に対する所有株式数の割合（%）
株式会社三菱UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7番1号	68	4.97
株式会社紀陽銀行 (常任代理人 日本マスタートラスト信託銀行株式会社)	和歌山県和歌山市本町1丁目35番地 (東京都港区浜松町2丁目11番3号)	55	4.04
菅井 博	兵庫県芦屋市	40	2.95
三木産業株式会社	徳島県板野郡松茂町中喜来字中須20	35	2.61
日本生命保険相互会社 (常任代理人 日本マスタートラスト信託銀行株式会社)	東京都千代田区丸の内1丁目6番6号 (東京都港区浜松町2丁目11番3号)	33	2.45
住友生命保険相互会社 (常任代理人 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)	東京都中央区築地7丁目18-24 (東京都中央区晴海1丁目8-11)	28	2.08
野村信託銀行株式会社(投信口)	東京都千代田区大手町2丁目2-2	25	1.88
株式会社キワ	和歌山県和歌山市東蔵前丁4	25	1.83
菅井 久美子	兵庫県芦屋市	22	1.67
萬野 博子	大阪府箕面市	22	1.65
計	—	357	26.13

(6) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 3,300	—	単元株式数 100株
完全議決権株式 (その他)	普通株式 1,364,700	13,647	同上
単元未満株式	普通株式 5,000	—	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	1,373,000	—	—
総株主の議決権	—	13,647	—

② 【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数 (株)	他人名義所有 株式数 (株)	所有株式数の 合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%)
(自己保有株式) スガイ化学工業株式会社	和歌山県和歌山市宇須 四丁目4番6号	3,300	—	3,300	0.24
計	—	3,300	—	3,300	0.24

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

3 四半期連結財務諸表について

「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）第5条第2項により、当社では、子会社の資産、売上高、損益、利益剰余金及びキャッシュ・フローその他の項目からみて、当企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいものとして、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

なお、資産基準、売上高基準、利益基準及び利益剰余金基準による割合は次のとおりであります。

① 資産基準	0.3%
② 売上高基準	0.6%
③ 利益基準	△0.6%
④ 利益剰余金基準	△0.8%

1 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	836,640	493,307
受取手形及び売掛金	※ 1,538,447	1,582,693
商品及び製品	1,409,534	1,438,118
仕掛品	98,990	59,182
原材料及び貯蔵品	293,641	381,289
その他	16,432	20,763
貸倒引当金	△4,626	△4,762
流動資産合計	4,189,059	3,970,591
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	692,691	686,807
機械及び装置（純額）	963,368	1,018,311
土地	1,328,624	1,328,624
その他（純額）	536,622	555,510
有形固定資産合計	3,521,307	3,589,253
無形固定資産	5,817	5,817
投資その他の資産		
投資有価証券	1,887,502	1,685,627
関係会社株式	3,819	3,819
その他	96,169	86,811
貸倒引当金	△14,177	△14,177
投資その他の資産合計	1,973,313	1,762,080
固定資産合計	5,500,438	5,357,151
資産合計	9,689,497	9,327,742
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	706,832	512,198
短期借入金	900,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	360,126	324,352
未払法人税等	47,150	19,253
賞与引当金	71,969	68,024
その他	423,932	551,699
流動負債合計	2,510,011	2,375,527
固定負債		
長期借入金	561,464	594,957
退職給付引当金	381,722	390,439
その他	458,643	362,690
固定負債合計	1,401,829	1,348,087
負債合計	3,911,840	3,723,615

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,510,000	2,510,000
資本剰余金	2,016,543	2,016,543
利益剰余金	483,872	426,076
自己株式	△5,208	△5,220
株主資本合計	5,005,207	4,947,399
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	772,449	656,727
評価・換算差額等合計	772,449	656,727
純資産合計	5,777,657	5,604,127
負債純資産合計	9,689,497	9,327,742

(2) 【四半期損益計算書】

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	2,376,269	2,419,796
売上原価	1,964,566	2,026,282
売上総利益	411,703	393,513
販売費及び一般管理費		
発送運賃	14,686	11,464
従業員給料及び手当	137,053	146,450
賞与引当金繰入額	18,826	23,019
退職給付費用	9,057	8,722
その他	190,429	198,152
販売費及び一般管理費合計	370,053	387,809
営業利益	41,649	5,703
営業外収益		
受取利息	62	101
受取配当金	18,596	20,105
為替差益	9,495	—
その他	3,872	2,940
営業外収益合計	32,026	23,147
営業外費用		
支払利息	5,398	4,295
休止固定資産維持費用	8,587	8,651
為替差損	—	4,248
その他	7,912	6,883
営業外費用合計	21,898	24,079
経常利益	51,777	4,771
特別利益		
受取保険金	—	12,893
特別利益合計	—	12,893
特別損失		
固定資産除却損	7,652	17,902
投資有価証券評価損	—	17,368
特別損失合計	7,652	35,271
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	44,125	△17,606
法人税、住民税及び事業税	7,502	3,698
法人税等還付税額	—	△4,866
法人税等調整額	△445	266
法人税等合計	7,057	△901
四半期純利益又は四半期純損失(△)	37,067	△16,704

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 2018年 4月 1日 至 2018年 9月 30日)	当第 2 四半期累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年 9月 30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	44,125	△17,606
減価償却費	182,005	189,670
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△747	135
賞与引当金の増減額 (△は減少)	607	△3,944
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△22,066	8,717
受取利息及び受取配当金	△18,658	△20,207
支払利息	5,398	4,295
受取保険金	—	△12,893
為替差損益 (△は益)	△9,495	4,248
固定資産除却損	7,652	17,902
売上債権の増減額 (△は増加)	247,993	△44,378
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△199,418	△76,424
仕入債務の増減額 (△は減少)	54,563	△192,359
その他	2,428	327
小計	294,387	△142,516
利息及び配当金の受取額	18,642	20,189
利息の支払額	△5,612	△4,601
保険金の受取額	—	12,893
法人税等の還付額	9,263	4,866
法人税等の支払額	△6,571	△30,771
営業活動によるキャッシュ・フロー	310,109	△139,940
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△244,653	△146,353
その他	2,035	5,162
投資活動によるキャッシュ・フロー	△242,617	△141,191
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△150,000	—
長期借入れによる収入	400,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△193,360	△202,281
リース債務の返済による支出	△15,669	△13,119
配当金の支払額	—	△40,398
その他	△10	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	40,960	△55,811
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,224	△6,390
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	116,676	△343,332
現金及び現金同等物の期首残高	315,958	836,640
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 432,634	※ 493,307

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

※ 四半期会計期間末日満期手形

四半期会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、前事業年度末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が前事業年度末日残高に含まれております。

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
受取手形	11,204千円	一千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
現金及び預金勘定	432,634千円	493,307千円
現金及び現金同等物	432,634	493,307

(株主資本等関係)

I 前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月21日 定時株主総会	普通株式	41,091	30	2019年3月31日	2019年6月24日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) 及び当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

当社の事業は、有機化学合成に基づく中間物の製造、販売、研究及びサービス等を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失(△)及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失(△) (円)	27.06	△12.20
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は 四半期純損失(△) (千円)	37,067	△16,704
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益 又は四半期純損失(△) (千円)	37,067	△16,704
普通株式の期中平均株式数 (千株)	1,369	1,369

- (注) 1 前第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、当第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 2 当社は2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失(△)を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月8日

スガイ化学工業株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小 幡 琢 哉 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 三 井 孝 晃 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているスガイ化学工業株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの第69期事業年度の第2四半期会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、スガイ化学工業株式会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。